

NEWS LETTER



NO.8 2001.10.01

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本（甲山国際文科学館内）
〒658 - 0003 神戸市東灘区本山北町 3 - 2 - 10
Tel:078 - 453 - 5941

澄 みわたった秋の空をすべるように進む飛行機の姿に、あの日の出来事がオーバーラップします。史上最悪のテロの犠牲になられた方々とその関係者に心から哀悼の意を表します。怒りと悲しみに震えると同時に、イスラム世界にあまりにも無知な自分を恥じ、また平然と「報復」が語られる現状に凍りつくような痛みを感じています。共生社会実現への小さな歩みと願いつつ日々の学習支援をしている私たちにも、大きな課題が与えられたものと思います。

開設以来2年、「にほんごひろば岡本」は恵まれた環境で日本語学習支援を平穩に続けてくることが出来ました。活動を支えてくださっている多くの方に感謝いたします。

現在、学習者は、東アジアの20名をはじめ西アジア4、北米5、中南米9、ヨーロッパ4、オセアニア1と、アフリカ以外の世界中の人々で構成されています。

日本語が上達して、とても社会的になった人、いいアルバイトや仕事が見つかった人、職場で大活躍の人、日本語能力試験めざして頑張っている人など、学習者と支援者の二人三脚が着実に実を結んできているようです。その一方で、日系南米の人たちは以前にもまして厳しい状況に置かれています。突然職場が遠方になり、せっかく始めた漢字や会話の学習を中断せざるを得なくなった人や、意欲はあっても夜勤続きの為に継続学習が困難な人、仕事の都合で家族が離れ離れになっている人、子供の教育問題で苦労している人など...難しい問題に直面して無力感に打ちひしがれる事も多々あります。そのような中で、9月から学習開始した17歳のブラジル人少年の姿は、私たちを勇気づけてくれます。食品会社での仕事が終わると自転車で駆けつけ、大好きな音楽の歌詞が読めるようにと漢字学習をしています。また職場や家で日本語を話す機会がほとんど無いと聞いて、彼の支援者は、出来るだけ話し相手になりたいと努めているようです。二人の活動に支障が生じないようにと願わずにはられません。

● CONTENTS ●

【特別寄稿】

片岡克宏さん

～長期社会体験研修を終えて～...2

【連載】

- 学習者の紹介...3
- 支援者の紹介...5
- 学習者のひろば...7

【お知らせ】

- BBQパーティーのお知らせ
- 第6回日本語教育ワークショップのお知らせ

【特別寄稿】 長期社会体験研修を終えて

西脇市立西脇小学校 片岡克宏 先生

6月・7月の毎週水曜日だけでしたが、「にほんごひろば岡本」でお世話になりました。西脇から、車・地下鉄・JRと乗り継ぎ、2時間かけて通っていました。2カ月だけ？ 2時間も？ と不思議に思われたことだと思います。実は、長期社会体験研修といって、この2カ月間は職場を離れ、自分の希望する民間企業や施設などで研修を受けることができたからなのです。簡単に言うと中学2年生が行っている「トライ・やる」の教師版です。

私は以前、台湾の日本人学校に3年間勤務した経験から、日本語指導には関心がありました。そこで、この機会に研修を深めようと、兵庫日本語ボランティアネットワークの長嶋先生をお願いをして、「多文化共生センター・ひょうご」「にほんごひろば岡本」「神戸定住外国人支援センター」「柏原日本語教室こんにちは」「西脇にほんごきょうしつ」の5カ所で日本語指導に携わってきました。

この研修で得たものは、大きく分けて3つあります。

1つ目は、日本語教師としての役割です。それは、単に日本語を教えるだけのボランティアではなく、日本語を教えることを通して、日本での生活を支援することなんだということです。また、その際に気をつけておきたいことは、決して価値の押しつけになってはいけないということです。これは、学校教育でも言えることです。

2つ目は、国語教育と日本語指導についてです。「い形容詞？ な形容詞？ 何だこれは？」と思いましたが、普段意識したことのない文法についても学習できました。

3つ目は、学習者や支援者（ボランティア）の方々との出会いです。私がこの2カ月間で支援した学習者は、15人で、ブラジル・フィリピン・ペルー・中国・台湾・モンゴル・インドなど、国籍はさまざまです。学習者の中には、「国へ帰ったら、先生のようにボランティアで外国人に北京語を教えたい」とすでに開設の申請書を出した台湾の林來英さん、「故郷に学校を建てたい。病院も建てたい」という夢を持ち、すでに60万円を学校建設のために寄付したインドのアルジュンさん、夜間勤務などの厳しい労働条件の中で、不況の日本経済の下支えとなっている日系の人々など、学習者の生き方や考え方、価値観などを知ることができました。支援者の方についても同じことが言えます。「人との出会いは人生の宝である」ということを実感できました。

この研修終了後も西脇の「にほんごきょうしつ」で、引き続き支援にあたります。共生社会実現に向けて、学習者と支援者がお互いに学び合うことができる、そんな日本語ボランティアとしての活動を続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、このような機会を与えていただいた長嶋先生、ご指導いただいた西村さん、佐古田さん、そして、学習者の方々、本当にありがとうございました。



学習者紹介

王 禹さん (男性) 中国出身 日本語検定 1 級挑戦がんばって！

王禹さんは、中国は天津の出身で 27 歳です。去年の 4 月に日本へ来て、コンピュータ関係の仕事をしています。現在は、携帯電話の開発に携わっています。今はまだ独身ですが、中国には、王さんより 1 歳年下の婚約者がいるそうです。彼女とはもっぱら E メールで連絡を取り合っているとのことですが、離れて暮らしているので、やはり彼女のことは心配のようです。

にほんごひろばでは、去年の 4 月から 12 月まで、私の大学の先輩である山本さんと、一緒に勉強していましたが、去年の 2 月から私と一緒に勉強しています。

現在、12 月に行われる日本語能力検定 1 級を受けるべく、ひろばでの勉強以外に、問題集などを使って独学しているようです。

このようにとても勉強熱心で向上心の強い王さんは、ひろばでの勉強においても、毎回予習を欠かすことがありません。そして例えば、似たような意味で使われる二つの文型の厳密な用法の違いについてなど、鋭い質問や疑問を積極的に投げかけ、私をタジタジにさせることもしばしば...

私としては、これからも、少しでも王さんの質問に的確に答えられるよう勉強していきたいと思います。そして王さんには、これまで以上に私を困らせてくれることを期待しています！



王さん、1 級に受かるといいですね。

(一瀬 由紀美)

ターニャさん (女性) ウクライナ出身 元気な二人目の赤ちゃんを...



毎週水曜日一緒に勉強しているターニャさんは来日して 2 年です。青い目で金髪のウクライナ人です。とても優しい日本人のご主人と 1 歳半のアントン君の三人家族です。

今年の 2 月末から勉強を始めましたが、とても熱心で、みるみる上手に話せるようになりました。アントン君の話になると、もう夢中で話が止まらず、とても幸せそうな顔になります。毎日彼女を驚かせてくれるそうです。今は、トイレトレーニングの真っ最中です。ウクライナでは紙オムツがとても高いので早くからトレーニングするので、1 歳ぐらいで皆オムツをはずせるようになるそうです。また、ウクライナのパパとママの話になるとちょっと寂しい顔になります。

来年の 3 月に二人目の赤ちゃんが産まれる予定で、つわりのため、あまり食べられず、だいぶ痩せてしまっているようです。

赤ちゃんをだっこできるのがとても待ち遠しい今日この頃です。

(市川邦子)

アンさん (女性) アメリカ合衆国出身 ジョークも大好き、明るいアンさん

アメリカというと、広大で自然が多く、多種多様な人々がいて、その様な環境の中で過ごしている人達は、明るくてジョークが好きでオープンマインド...。そんなイメージがありませんか？

今年の3月から一緒に学習しているアンさんは、アメリカはコロラド州から来られました。イメージ通りの人柄に今ではどんどん引き込まれています。

毎回の学習では、いつも、「週末は何してた？」から始まり、アンさんのお仕事について（イーオンで英語を教えておられます）お互いのこれからの夢や近い将来どうしたいかなど、色々とおしゃべりをします。そして旅行の話になると必ず「オーストラリアがいい！！」と興奮して言われます。アンさんの仕事仲間でオーストラリア出身の方から、海辺の一軒家が\$50,000で購入できると教えてもらったようで、それ以来、オーストラリアー筋のアンさんです。私もよく勧められます。

お仕事の忙しいアンさんですが、いつの間にか、人や物などの数え方を覚えられていてびっくり！（お酒の「～杯」の数え方はパーで覚えられたとかなんとか・・・笑）発音もとてもきれいで、特にカタカナの言葉の発音には気をつけておられます。



いつも明るく、前向きなアンさんにパワーをもらいつつ、最近の私は、少しずつオーストラリアの事が気になり始めています。（関野聡美）

王 瀟瀟ちゃん（女性）中国出身

日本の若者ことばも上手です！

約2年前、北京の近くの石家荘という町から来た王ショウショウちゃんは12歳、とても明るい元気な女の子です。

日本に来た当初は中華同文に通学していましたが、1年半位前に、日本語をもっと勉強するために、御

影北小学校に転校しました。

おかげで、おしゃべりはとても上手で、今では、お母さんとの口喧嘩も日本語だそうです。時々、あまり美しいとはいえない日本語、若者の間で流行している正しいとはいえない日本語も使ってくれます。注意はしているのですが、まわりが使っているせいか、なかなか直りません。（まあ、無理ないのかもしれませんが・・・）

にほんごひろば岡本には、今年の1月末から来ていて、今は小学校4年生の教科書を一緒に勉強しています。



頭の回転が速く、文章の内容を把握するのは速いのですが、本読み、作文などが苦手なようです。

私自身、中2の娘と小4の息子がおり、彼女はそのちょうど中間の年齢です。学習支援者と親の両方の立場から彼女を見て支援できたらと、心がけています。ですから、教科書を離れて、お友達とのちょっとした気持ちのすれ違いやお母さんに叱られたことなどもよく話してくれます。

話し出すと止まらなくなって、なかなか教科書に戻れなくて困ってしまう時もよくあるのですが、出来るだけ耳を傾けるようにしています。それは、彼女の話聞いてあげるといより、母国とは全く違う教育制度、文化の中で感じることを率直に話す彼女の言葉は、私自身の勉強、反省になる場合が多々あるからです。

18歳までは日本で教育を受けるというショウショウちゃん、日本で出来るだけ多くのものを吸収して、今のままの素直な心で成長してくれるようにエールを送り続けていきたいと思っています。

でも、あまり夜更かしはしないようにね。

（橋本桂子）

渡辺 ジナさん（女性）フィリピン出身 どっちが支援者！？

今年の3月から週2回一緒に勉強している渡辺ジナさんは、日本へ来て約2年になるフィリピン出身の女性です。名前からも分かるように、ご主人が日本人で、今は専業主婦をしています。とても明るく、とにかくよく笑い、一緒にいると楽しい人です。そんな彼女が私によくしてくれるアドバイスは、「若いうちに結婚はしない方がいいよ」です。そうかと思えば、「私の主人やさしいでしょ」とのろけたりもしています。

ジナさんは大変気配り上手で、しかもそれが自然なところが素敵だと思います。また、私が頼りないせいなのかもしれませんが、私によく気をかけてくれます。道路では車が通るたびに私の手を引いてくれて、別れ際にはいつも、「気をつけて帰ってね」と言ってくれます。

さらに、神戸や大阪のことを私よりもよく知っていて、逆に教わっています。これではどっちが支援者なのか…。私もジナさんに負けないようにいろいろな知識を身につけなくては！

先にも書いたようにジナさんは専業主婦なので、やはり家にいることが多く退屈なときも少なくないようで、もっと友達が欲しいと言っています。本当に明るくて話しやすい女性です。機会があればぜひ話しかけてあげてください。

これから、にほんごひろばがジナさんにとってより楽しい場所になればいいなと思います。

（春名美咲）

支援者紹介

大家 園代さん

わかりやすい授業をめざして・・・

私は、約4カ月前からこのにほんごひろば岡本でボランティアを始めました。

将来、日本語教師になりたい私は、大学の下田先生に相談に行った時このボランティアを紹介してもらいました。今はカナダ出身のベティさんを教えています。

ボランティアを始めて、私たちが英語を習うとき in や at などの前置詞の使い方が難しいように、外国人が日本語を勉強するとき「～に」や「～で」などの助詞の使い方が難しいんだなと思いました。

学校でも外国人が間違いやすい文法の教授法を勉強していますが、やはり自分が実際に教えてみて改めて分かることや、新たに分かることがありとても勉強になります。

大学卒業後、海外に留学し、できれば日本語教師のティーチングアシスタントなどしたい私は、この夏オーストラリアへ語学研修に行ってきた。午前中は語学学校に行っていたのですが、分かりやすい英語でゆっくり発音したり、絵で説明したり、使い方の例をたくさん挙げたりと、母国語を外国人に教える方法なども生徒の立場から勉強になりました。

この語学研修での経験なども活かしながら、日本語を分かりやすく教えられるように頑張っていきたいと思います。

高橋 三紀さん

奥が深いです！インドのカレー

こんにちは。錦文ちゃんと共に「ひろば」にお世話になって一年半の高橋です。毎日勤め先と家を行った来たるの生活が、日本語を勉強し始めてから変わった様に思います。いつもどこかが外に触れていられる様な不思議ないい感じです。



もともと旅行好きで、休みになる度に主にアジア方面に行っていたのですが、インドに行ったときに「ここで働けたらいいなあ」と真剣に考えたのが日本語を勉強したきっかけです。先生になりたいというよりも職業の一つとして選んだので、動機が不純です。すみません…。なのに今は、仕事を探すでもなく、ただインドに行ってぼんやり過ごしたり、近くのバザールに行っては雑貨や服を値切って喜んでいるだけなので、最初の意気込みはどうしたんだ？と自問自答している所です。でも、いつかは…と思っています。

ところで、インドと言えばカレーですが、現地の屋台で味わうカレーは、神戸辺りのインドレストランのものとはかなり違ってきます。もっと庶民的で、毎日毎食に耐えられる(?)まろやかな辛さです。家庭で作るカレーは、野菜がいっぱい入っていて健康的です。日本で言えば、筑前煮やゴマ和え、きんぴらのようなもので、チャパティー（薄いパン）にぴったり。

人にもよりますが、知り合いのインド人はビールや肉（鳥やマトン、豚）が好きで、「宗教上問題は？」と聞くと、「へっへっへー」と笑ってアサヒ本生をぐぐーっと飲んでいました。

さすがインド、奥が深い？

八木 万祐子さん

素敵な先生になって下さい…

私は今年の5月から8月まで、にほんごひろばでお世話になっていました。高校生の時に日本語教師に憧れて、大学に通いながら日本語教師養成講座に通っていました。こう書くと、勉強熱心と思われるかもしれませんが（想像つかない？）。4年間、毎日部活ばかりで、日に焼けて肌は真っ黒、勉強はどこへやらの生活でした。それでも今年の3月に無事大学を卒業することができました。そして、実際教えたことがないという不安を抱えながら、にほんごひろばに飛び込みました。

親元を離れて一人暮らしをしていた私にとって、にほんごひろばは自分の家のような、西村さんはまるでお母さんのような存在で、学習が終わってもいつも居座っておしゃべりしていました。日本語を教えることに関しては、質問にうろたえたり、英語につまったり、



私が教わることの方がはるかに多かったです。ようやく慣れてきたところでしたが、養成講座が終了し、親元へ帰るため、ひろばともお別れすることになりました。オラシオさんとは4カ月、ミリアさんとはたった2カ月弱でしたが、一緒に楽しく勉強し、本当にいい時間を過ごすことができました。短い間でしたが、本当に本当にありがとうございました。

それから最後に嬉しい報告を。

8月中旬に青年海外協力隊に合格し、来年4月から2年間中国の大学で日本語を教えることが決まりました！9月から早速研修が始まりますが、素敵な先生になれるよう、がんばります！

学習者のひろば

ターニャさんから市川先生へ はじめての Re:メール

2001 年 9 月 3 日 (月) 9:09 PM

差出人: kiyose taysuya <d.....@.....ne.jp>
宛先: Kuniko Ichikawa <d.....@.....ne.jp>
送信日時: 2001 年 9 月 2 日 日曜日 5:46 AM
件名: Re: はじめてのメール



いちかわせんせい おげんきですか。 メールをありがとうございました。

きのうのばん、ろっこうさんホテルからかえりました。とてもたのしかったです。きんようびのばんは、さむかったです。ろっこうさんホテルから、きれいなこうべがみえました。どようびは、ろっこうさんぼくじょうへいきました。わたしはチーズをたべたかった。でもいろいろチーズがありません。ざんねんでした。でも、アントンくんはともうれしかったです。いろいろどうぶつがいましたから。

また、ろっこうさんのうえにいきたいです。

ターニャ

日本語の難しさを実感

施 仁烈 (し じんれつ) さん (男性)

僕は台湾人。日本に来たのは 1984 年 4 月末、今から数えると 17 年 5 カ月前のことでした。

ふりかえて思うと、歳月の流れはとても早かったと思います。

最初、日本語はあいうえお、五十音しか分かりませんでした。台湾は昔、日本の植民地で、年配の方は大体日本語を話せます。したがって、日本語の単語の発音は幾分、日常生活に使われています。例えばリンゴ、

オートバイなど。小さい時、わずかな記憶の中、自分の住む家近く、日本式家屋があっちこっちにありました。中はもちろん、たたみの部屋、ふすまなど。でも今はほとんど残っていません。ですから、台湾の人にとって日本での生活や日本語の勉強などあまり苦にならないと思いました。日本に来る前、僕は多少そういう気持ちがありました。でも実際に来てから、日本語の難しさ、言葉の不自由さにショック。最初大阪に行った時、駅前の高層ビル林立、地下鉄と地下商店街の多さに目からウロコが落ちる感じでした。自分が思ったイメージと大分違っていたから。

長く日本に住むにつれ、ますます日本語の難しさを実感するとともに、もっと日本語をマスターしたい気持ちが強くなりました。



今年の 2 月、たまたま HAT 神戸の中にある国際プラザに行って、掲示板に貼ってある「にほんごひろば岡本」の案内を見ました。何日が迷いましたが、勇気を出して電話したら、西村さんは親切にいろいろ教えてくれました。

17 年間も日本におりました僕を受け入れてくれましたことを心から感謝の気持ちで一杯です。

お知らせ

◆バーベキューパーティー



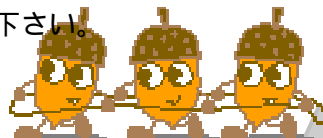
日時： 10月21日（日曜日）午前10時10分集合

場所： 芦屋奥池遊びの広場

集合場所： 阪神芦屋駅東側の改札口

会費： 1000円（当日集めます）

詳細はチラシを配りますので、それをご覧ください。



第6回日本語教育ワークショップ

日時： 10月27日（土曜日）午後1～3時

講師： 神戸松蔭女子学院大学

下田美津子先生

場所： にほんごひろば岡本

テーマ： 条件表現「と・たら・ば」の説明と具体的な教え方
ワークショップの後、支援者交流会を予定しております。各自抱える日本語支援について意見を交換しましょう。

編集後記 初めまして、今回編集のお手伝いをさせて頂きました kari です、こんにちは！今回この役目を与えていただいた事で「編集」の苦労や作り上げる事の楽しさを実感することが出来、とてもいい経験になったと思います。「我流にやって下さって結構です」との先生の言葉に甘えて、素人らしく突拍子もない案を出してはその都度周りの皆様を驚かせてしまいましたが、こうして何とか No.8 が完成しました。M・I さん、今回は大変お世話になりました、ありがとうございました！！次号からもがんばってください。（kari）追伸：kari さん、次号もよろしくね。覚悟のほどを（M・I）

